

のびのび通信 第74号

2012年6月



春のお花がたくさん咲いて、だんだんと夏の花も咲いてくるこの季節、発達障害児支援サークル「のびのび」では、お花を使った活動を行います。今年は、そんなお花がいつまでも残るように、本格的なプリザーブドフラワーづくりに挑戦しました。

お花を使った活動は、女の子っぽい？

そんなジェンダーじみた発言が聞こえてきそうですが、男女関係なく美しいものは美しいと楽しめる活動です。発達障害児支援サークル「のびのび」では、今までにもフラワーボックスや粘土や風船でお花づくりなど“お花を使った創作活動”に挑戦しています。どの子ども、真剣に、そして、お花を優しく扱う姿が印象的です。

今回は、本格的にプリザーブドフラワーに挑戦で、みんなはじめての活動です。色鮮やかなバラを三つ選びますが、どの色にするのか迷います。

でも、こんなにたくさんの色のバラ、どこにあるんだろう？

講師の先生に、バラの色を付ける行程や日本では作りにくいことなど、創作以外のことも教わりました。ちょっと知識が増えて、満足気な子ども達です。のびのびっ子たちは、いろんなことを教えてほしいようです。新しい情報を聞いたときは、嬉しそうですよ。

そして、いよいよお花をアレンジしていきます。グルーガンを使って、思い思いの形に仕上げます。障害の特性で、集中力が短いなんて指摘されることもあります。行程がちゃんとわかる創作活動では、どの子ども時間を忘れて、しっかりと自分の作品を作り上げます。マスコットを入れたり、グルーガンのボンドを“雫”に見立てて仕上げたり、アイディアいっぱい作品の誕生です。改めて、子ども達の感性に驚かされます。



来月は、地域の方への情報発信として毎年恒例の夏季セミナーを開催します。先月から受付を開始してしまして、市外県外からのお申込みが多くすでに40人近い方々にお申込みをいただいています。遠くは、愛媛県からのご参加もあります。お近くの方も是非、ご参加ください。お待ちしております。詳しくは、ホームページで・・・

<http://nobinobi.bigsite.net/>

発行：発達障害児支援サークル「のびのび」